

『学会開催報告』

第4回 Basic Disaster Life Support
(BDLS) 金沢コースThe 4th Basic Disaster Life Support Course
in Kanazawa

金沢大学附属病院 集中治療部

谷 口 巧

平成25年7月7日(日)、金沢大学医学部基礎棟講義室を会場として第4回 Basic Disaster Life Support (BDLS) 金沢コースを開催しました。昨年に引き続きBDLSコースを開催できたことを光栄に思います。今回のコースは7月6日(土)に開催した日本集団災害医学会の災害教育コースであるMass Casualty Life Supportとコラボレーションして行いました。北海道から九州、沖縄県まで、医師、看護師、救急隊員(救命士も含む)、医療事務員と多職種の人たち計73名の受講生と、東京医科歯科大学救急災害講座の大友康裕教授をDirectorとして、全国から集まった12名の救急、災害専門医を講師として招いて開催しました。

本コースは、2001年9月1日アメリカ合衆国(USA)でテロが起き、その際の対応に不備があったことを反省して、アメリカ合衆国連邦政府がアメリカ医師会とアメリカ救急医学会に要請し、全国民が災害に対する一定の知識を備えるようにと作成した教育トレーニングプログラムの1つです。今回も、災害医療に非常に興味のある医療従事者の多数の参加を受け、また、近年の数多くの自然災害後のこともあり、熱心に受講されていました。

プログラムの内容としては、災害時に最大数の傷病者を助けるために最大限の努力を行うことを目的に、全ての救助者が共通の概念と言葉を持って対応できるように教育していくコースです。総論から始まり、災害時にどのように対応したらよいかを順に、Detection(覚知)、Incident Management(インシデントマネジメント)、Safety and Security(安全性とセキュリティ)、Assess Hazards(ハザードの評価)、Support(支援)、Triage/Treatment(トリアージと治療)、Evacuation(搬送・避難)、Recovery(回復・復興)と、DISASTERパラダイムとして、項目ごとに解説しています。さらに、自然災害から人的災害、テロ(生物兵器、化学兵器、放射能、核兵器など)に至るまで各種災害に関して詳細に解説し、のべ8時間の充実した講義内容となっています。今回も前回と同様、受講生は熱心に講義を聴き、その後の質問に関しては時間を延長するほど討論していました。

講義終了後、アンケート調査を行い、受講生全員が災害に関して自分なりに知識を深めることが出来、また受講したいとの感想を頂きました。また、BDLSを踏まえたより高度の教育プログラムであるAdvanced Disaster Life Support (ADLS) にも是非参加したいとの意見も多く頂きました。

今回のコース成功で、日本の医療従事者が災害に関して、より一層の興味を持ち、知識も深まったと確信しております。さらに、平成26年度にADLSの初開催を計画しております。これもひとえに、十全医学会をはじめ協力していただきました企業の皆様のご協力の賜物であったと深く感謝しております。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

